

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アスラボはるえ			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月24日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月16日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心して過ごせる環境作りを提供している。	職員が相談しやすい雰囲気作りを意識的に行っている。特に学習支援の中で児童が感じている学習への不安に対して一緒に進める工夫を行っている。	児童が安心して自己表現できる環境作りをし、学習アドバイザーを中心に児童や保護者様等のニーズに添った支援に努めていく。
2	職員間の連携、チームワークを重視した支援体制を取り情報共有をした支援に努めている。	支援内容や児童の様子について、こまめな情報共有を行っている。送迎時や支援会議等で保護者様や各機関の相談員、各学校との連携を行っている。	児童や保護者様とのより一層の信頼関係構築
3	児童の小さな変化にも気付けるよう工夫をし、支援の方向性を統一する。	日常的な朝、終礼時や個別支援計画書において職員一人ひとりが共通理解を持つ。	振り返りの機会や研修等を充実させ、より質の高い支援を目指す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員一人ひとりが主体的に保護者様に関わる事が十分とは言えない点。	日々の支援の中で得た児童の様子や気付きを保護者様や各関係機関へ繋げていく意識を高める必要がある。	職員間での役割分担等にて、事業所全体として一貫した支援に繋げる工夫が必要である。
2	保護者会や地域の方々との交流がないこと。	保護者様同士の意見交流や地域を取り込んだプログラムを行っていない。	地域との交流や保護者様からの意見を頂き交流の場の工夫が必要である。。
3			